

平成27年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	肺癌に対する抗エストロゲン療法確立に向けた研究 (支援期間：平成27年度)		
大学名	所属	氏名	
金沢大学	医薬保健研究域医学系 医薬保健研究域医学系	西條 清史 ○出村 昌史	
福井大学	医学部内科学(3) 医学部附属病院	○石塚 全 酒井 啓行	
注1. 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。 注2. 所属(その他の機関については職名も)については、平成28年3月末現在を記入。			
その他の機関 の構成員	機 関 名	所 属	職 名
成果概要	<p>【目的】 肺癌のアロマターゼ(エストロゲン合成酵素;CYP19A1)過剰発現型変異を同定し、抗エストロゲン療法という新たな分子標的個別化療法の確立を目指す。</p> <p>【達成目標】 肺癌における、ゲノム再編成(欠失、逆位、重複)に起因する CYP19A1 過剰発現例の同定。</p> <p>【活動実績】 肺癌症例17例から肺組織を収集し、遺伝子発現解析を行った。また、6例について、比較ゲノムハイブリダイゼーション解析を行い、多種多様なゲノム再編成を検出した。この変異の中から、エストロゲンシグナルに関わる変異の抽出中である。今後も順次症例を増やし、解析を進めていく予定である。</p> <p>また、ゲノム再編成(欠失、逆位、重複)を検出するため、下記の変異アッセイ系を確立した。 1. 重複の検出：5' -RACE (Rapid Amplification of 5' cDNA End) 法 2. 欠失、重複の検出：デジタルPCRを用いた変異解析アッセイを確立した。</p> <p>H27では変異解析のためのアッセイを確立したので、H28は、症例のさらなる追加、および、変異解析を順次実施していく予定である。</p>		
獲得した外部 資金	なし		